

S. (Eds.) 259-262, Excerpta Medica, Elsevier Science Publishers, Amsterdam, 1990.

- 11) Osaka, E.: Alteration of epicardial lymphatics in lymphostatic canine hearts. In Progress in Lymphology-XII by Nishi, M., Uchino, S., Yabuki, S. (Eds.) 327-329, Excerpta Medica, Elsevier Science Publishers, Amsterdam, 1990.

病 理 学 (2)

教 授 小 泉 富美朝
助 教 授 若 木 邦 彦
助 手 北 澤 幹 男
助 手 川 口 誠 伸
教 務 員 倉 茂 洋 一

◆ 著 書

- 1) 小泉富美朝：南山堂 医学大辞典，分担執筆，南山堂，東京，1990。
2) 小泉富美朝：カラーアトラスマクロ病理学，監訳 今井 大，分担訳，146-172，西村書店，新潟，1990。

◆ 原 著

- 1) Kaji T., Kawatani R., Hoshino T., Miyahara T., Kozuka H., Kurashige Y. and Koizumi F.: A suitable culture medium for ossification of embryonic chick femur in organ culture. Bone Mineral 9: 89-100, 1990.
2) 川口 誠，石澤 伸，霜田ふゆみ，小竹 彌，酒井 剛，小泉富美朝：扁桃組織内 S-100 蛋白陽性細胞の免疫組織学的検討。日扁桃誌 29: 60-65, 1990。
3) 霜田ふゆみ，川口 誠，石澤 伸，小竹 彌，小泉富美朝：扁桃組織の単核食細胞における MAC 387 陽性細胞の検討。日扁桃誌 29: 66-69, 1990。
4) 川口誠，石澤 伸，小竹 彌，藤巻雅夫，小泉富美朝：口蓋扁桃の非リンパ球系細胞における食能および免疫組織化学的検討。日扁桃誌 29: 296-305, 1990。
5) Kaji T., Takata M., Miyahara T., Kozuka H. and Koizumi F.: Interaction of zinc with cadmium and copper on ossification of embryonic chick bone in tissue culture. Arch. Environ. Contam. Toxicol. 19: 653-656, 1990.
6) 日戸平太，北澤幹男，設楽篤幸：悪性皮膚混合腫瘍，皮膚の良性混合腫瘍に生じた筋上皮細胞腫

とその悪性化。日本皮膚病理組織学会誌 5: 42-45, 1989.

◆ 症例報告

- 1) 安田健二，中川 肇，水越鉄理，小泉富美朝，赤川直次：扁桃より発生した basal cell epithelioma (基底細胞上皮腫) の 1 例。日扁桃誌 29: 144-146, 1990。
2) 小泉富美朝，高野治雄，西能 弘：僧帽弁と大動脈弁にリウマトイド結節を認めた慢性関節リウマチの一剖検例。中部リウマチ 21: 16-17, 1990。
3) 齊藤清二，樋口清博，渡辺明治，若木邦彦，小泉富美朝：比較的急速な経過で死亡した Crow-Fukase 症候群の 1 例。代謝 27: 1023-1028, 1990。
4) 勝木茂美，田沢賢次，笠木徳三，島田一郎，安斎 裕，坂本 隆，藤巻雅夫，若木邦彦：脳梗塞に伴った巨大結腸症の 1 例。日本臨床外科医学会雑誌 50: 2620-2626, 1989.

◆ 総 説

- 1) 小泉富美朝，北澤幹男：アレルギー性肉芽腫性血管炎の検討 パネルディスカッション VII 好酸球増多症と血管炎。脈管学 30: 439-444, 1990。
2) 小泉富美朝，アレルギー性肉芽腫性血管炎の診断手引き。病理と臨床 8: 1357-1364, 1990。
3) 小泉富美朝，北澤幹男，若木邦彦：アレルギー性肉芽腫性血管炎における好酸球浸潤について。病理と臨床 8: 1502-1506, 1990.

◆ Proceeding

Koizumi F., Nakagawa H., Yokozawa T. and Oura H.: Histochemical analysis of renal fibrosis in rats with adenine-induced chronic renal failure. Connective Tissue 21: 93-94, 1990.

◆ 学会報告

- 1) 川口 誠，霜田ふゆみ，石澤 伸，酒井 剛，小泉富美朝：扁桃組織内 S-100 蛋白陽性細胞の免疫組織学的検討。第79回日本病理学会総会，1990，3，福岡。
2) 小泉富美朝，川口 誠，酒井 剛：扁桃病巣感染症とみなされる掌蹠膿疱症の免疫病理学的検討。第79回日本病理学会総会，1990，3，福岡。
3) 若木邦彦，小泉富美朝，津田基晴：Paneth 細胞様分化を示した胃癌の 1 例。第79回日本病理学会総会，1990，3，福岡。
4) 霜田ふゆみ，小泉富美朝，寺澤捷年：慢性関節リウマチの滑膜組織における MAC387 陽性細胞の検討。第34回日本リウマチ学会総会。1990，5，

大阪。

- 5) Kawaguchi, M., Ishizawa S., Shimoda F., Sakai T., Koizumi F.: Immunocytochemical study of S-100 protein positive adherent cells obtained from human tonsils. A satellite symposium of the 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Reticuloendothelial System, 1990, 6, 山形.
- 6) 高桜英輔, 伊勢拓之, 長井英夫, 勝木達夫, 福井米正, 小泉富美朝: 肺梗塞を併発した過敏性血管炎の一例. 第147回日本内科学会北陸地方会, 1990, 6, 富山.
- 7) 渡辺一義, 中川秀夫, 古西清司, 藤岡基二, 小泉富美朝, 倉茂洋一: IL-8 family の rats CINC の一次構造と in vivo におけるその作用について. 第11回日本炎症学会, 1990, 7, 東京.
- 8) 小泉富美朝, 松野博明, 河村洋一: 早期多発性関節炎の2例. 第2回中部リウマチ学会総会, 1990, 9, 名古屋.
- 9) Kawaguchi M., Shimoda F., Sakai T., Ishizawa S., Koizumi F.: Immunocytochemical study of macrophages and dendritic cells in human tonsils. XVIII International Congress of the International Academy of Pathology, 1990, 9, Buenos Aires.
- 10) 川口 誠, 酒井 剛: 掌蹠膿疱症の扁桃および皮膚における dendritic cells の研究 (シンポジウム). 第30回日本扁桃研究会総会, 1990, 9, 大宮.
- 11) 霜田ふゆみ, 川口 誠, 酒井 剛, 石澤 伸, 小泉富美朝: 扁桃組織の tingible body macrophage における単球系抗原の発現について. 第30回日本扁桃研究会, 1990, 9, 大宮.
- 12) 西島美知春, 高久 晃, 桑山直也, 遠藤俊郎, 小泉富美朝, 大和田健司, 佐藤秀次: 後頭蓋窩硬膜動脈奇形の発生機序について—病理組織学的検討—. 第49回日本脳神経外科学会総会, 1990, 10, 東京.
- 13) 小泉富美朝: アレルギー性肉芽腫性血管炎 (イブニングシンポジウム). 第40回日本アレルギー学会総会, 1990, 11, 長崎.
- 14) 川口 誠, 酒井 剛, 石澤 伸, 霜田ふゆみ, 小泉富美朝: 掌蹠膿疱症患者の扁桃組織に出現する多核巨細胞の免疫組織学的検討. 第1回樹状細胞研究会, 1990, 11, 東京.

◆ その他

- 1) 北澤幹男, 倉茂洋一, 小泉富美朝. アレルギー性肉芽腫性血管炎のモデル動物の検討 (第四報). 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班 平成元年度第2回総会, 1990, 1, 東京.

- 2) 上山武史, 横川雅康, 小泉富美朝: 血管造影像より見たバージャー病の長期経過. 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班 平成元年度第2回総会, 1990, 1, 東京.
- 3) 木屋千恵子, 江尻 哲, 若木邦彦, 北澤幹男: 胸水中に出現した悪性血管腫の2例. 第7回日本細胞学会, 富山県支部学術集会, 1990, 3, 富山.
- 4) 小泉富美朝, 北澤幹男, 高橋英輔: 過敏性血管炎と考えられる1症例. 厚生省特定疾患・難治性血管炎調査研究班病理分科会, 1990, 11, 東京.
- 5) 石澤 伸, 小泉富美朝, 杉本裕史, 吉田 勲: 下顎に発生した骨腫瘍の一例. 第2回北陸病理集談会, 1990, 11, 富山.

病理学 (寄生虫学)

助 教 授 上 村 清
助 手 荒 川 良

◆ 原 書

- 1) Syafruddin, Arakawa R., Kamimura K. and Kawamoto F.: Histopathological effects of an insect growth regulator, 4-phenoxypyrenyl (RS)-2-(2-pyridyloxy)propyl ether (pyriproxyfen), on the larvae of *Aedes aegypti*. Jpn. J. Sanit. Zool. **41**: 15-22, 1990.
- 2) Tsuji N., Okazawa T. and Yamamura N.: Autogenous and anautogenous mosquitoes: A mathematical analysis of reproductive strategies. J. Med. Entomol. **27**: 446-453, 1990.
- 3) Mogi M. and Okazawa T.: Factors influencing development and survival of *Culex pipiens pallens* (Diptera: Culicidae) in polluted urban creeks. Res. Popul. Ecol. **32**: 135-149, 1990.
- 4) 渡辺 護, 荒川 良, 上村 清: 富山県におけるコガタアカイエカ捕集数の年変動と殺虫剤抵抗性との関係. 衛生動物 **41**: 51-58, 1990.
- 5) 渡辺 護, 荒川 良, 山口勝幸: イヨシロオヒアブ幼虫の生息地について. 衛生動物 **41**: 275-277, 1990.
- 6) 渡辺 護, 川原たま子, 荒川 良, 水馬 博, 品川保弘, 井上一郎: クサギカメムシの駆除に関する基礎的研究. 富山県衛研年報 **13**: 61-69, 1990.
- 7) 荒川 良, 渡辺 護, 上村 清: 立山の森林地帯から発生する蚊類の季節消長. 富山県衛研年報 **13**: 70-75, 1990.